

平成30年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（兵庫県）

— 主食用作付見込面積は3万5,500haの見込み  
10a当たり予想収量は497kg（前年産に比べ4kg減少）の見込み —

1 作付面積

平成30年産水稻の作付面積（青刈り面積を含む。）は3万8,000haで、前年産に比べ300haの増加が見込まれる。うち主食用作付見込面積は3万5,500haが見込まれる。

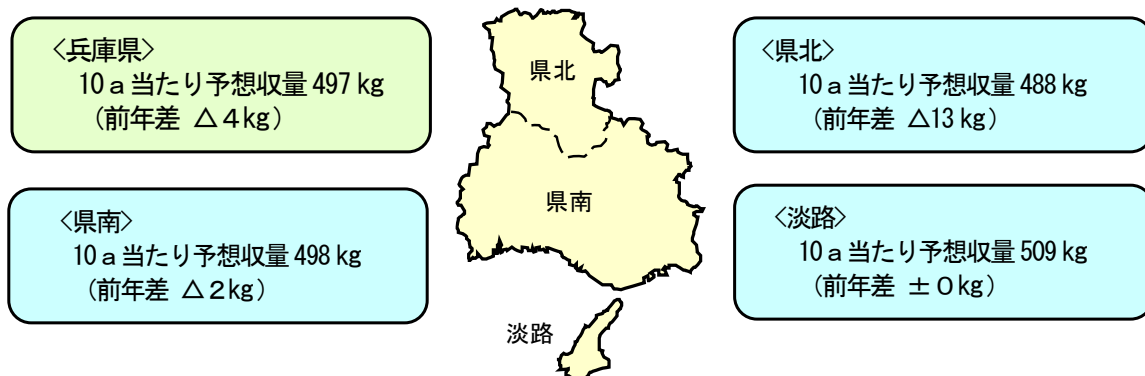
2 作柄概況

- (1) 穂数及び1穂当たりもみ数は、田植え後の気象経過等により作柄表示地帯間でばらつきがあるものの、兵庫県全体では「平年並み」となった。
- (2) 全もみ数は、穂数及び1穂当たりもみ数が平年並みとなったことから「平年並み」となった。
- (3) 登熟は、9月以降、日照時間が平年を下回って推移しているものの、出穂期以降、気温及び日照時間がおおむね平年並みに推移していることや全もみ数が平年並みとなったことから「平年並み」が見込まれる。
- (4) 以上のことから、9月15日現在の10a当たり予想収量は497kg（前年産に比べ4kg減少）が見込まれる。また、農家等が使用しているふるい目幅ベースの作況指数は99となる見込み。
- (5) 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量は、県南は498kg（前年産に比べ2kg減少）、県北は488kg（同13kg減少）、淡路は509kg（前年産並み）が見込まれる。

3 予想収穫量（主食用）

主食用作付見込面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量（主食用）は17万6,400tが見込まれる。

図 作柄表示地帯別の10a当たり予想収量（9月15日現在）



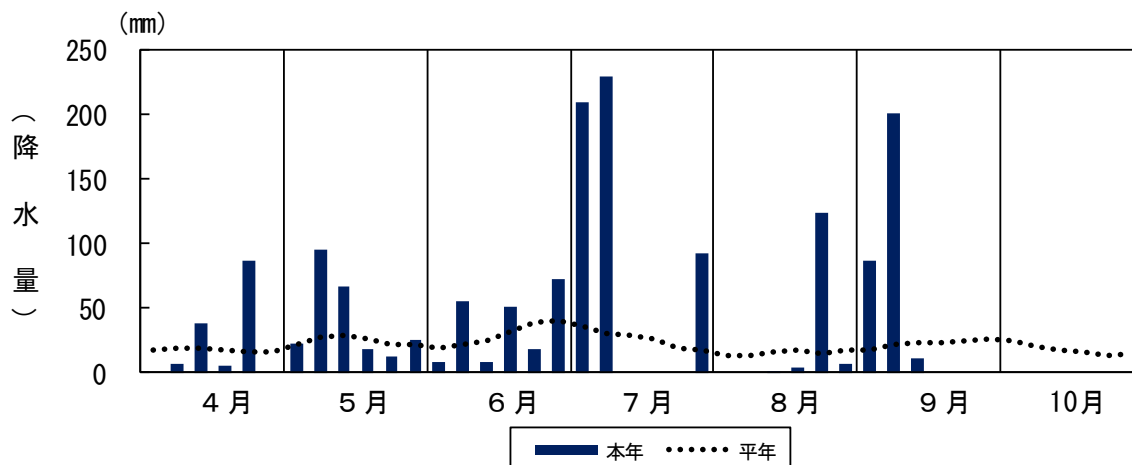
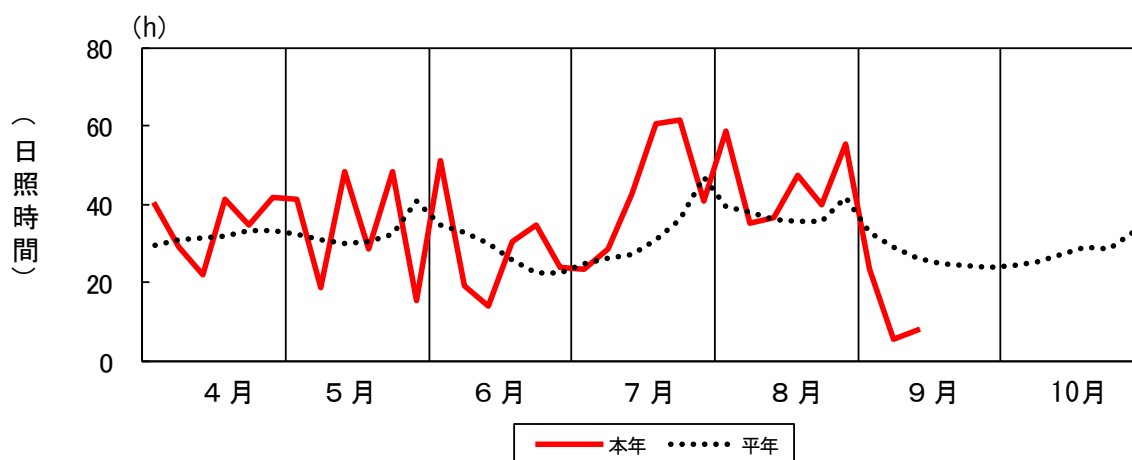
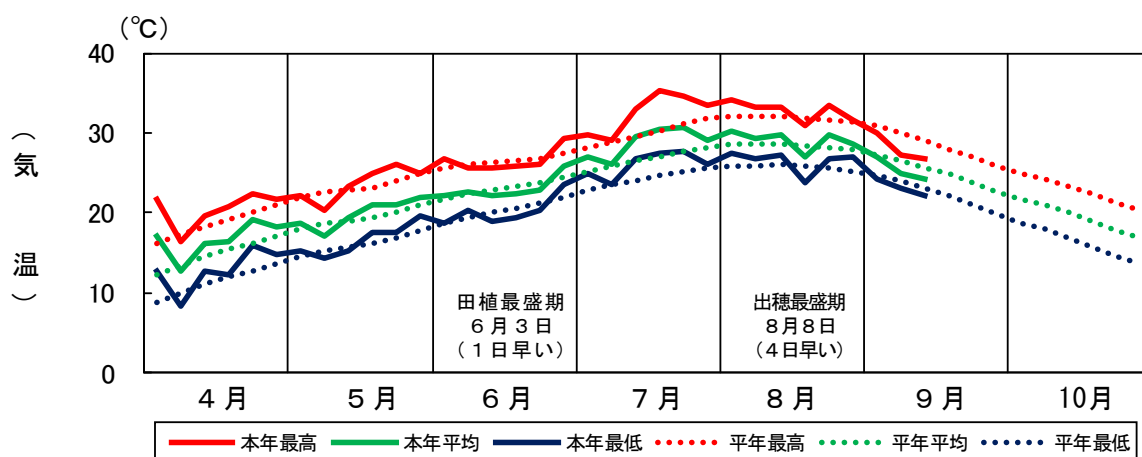
○ 本調査における作柄概況（9月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。  
○ この資料は、「平成30年産水稻の作付面積及び9月15日現在における作柄概況（近畿）」（平成30年9月28日公表）の補足資料として作成したものである。

本資料は、近畿農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/toukeikikaku/yotei/2018.html> 】

【参考】

兵庫県（神戸市）の気象



資料：気象庁『アメダスデータ』

注： 田植期及び出穂期の最盛期は、県平均の期日である。

なお、( )内は、対平年差である。

【お問合せ先】

近畿農政局 兵庫県拠点 統計チーム

電話：(代表) 078-331-9941 内線 266

(直通) 078-391-2873

FAX： 078-392-7558